

待望の「小売業のロス対策入門書」のご紹介

中央経済社より6月に、米国ロスプリベンション関係者の必携の書といわれるリード・ヘイズ博士著「**Retail Security and Loss Prevention (邦題：小売業のロス対策入門)**」の待望の日本語版が出版されましたのでご紹介します。書店でもお買い求めいただけますが、裏面の申込書でもご購入いただけます。

タイトル：「小売業のロス対策入門～ロスプリベンションで未然に防ぐ」

著者：リード・ヘイズ博士(Dr. Read Hayes)

フロリダ大学のリサーチサイエンティストでロスプリベンション・リサーチ・カウンシル (Loss Prevention Research Council 以下 LPRC) のディレクター。

フロリダ大学およびイギリスのレスター大学で犯罪学を学び、米国の小売業でのセキュリティ業務を経験後、30年以上にわたってウォルマート、ホームデポ、ロウズ、ターゲット、ベストバイ、ウォルグリーン、メイシーズなど多くの大手小売企業の店舗現場における犯罪およびロス削減活動にコンサルタントとしてかかわってきた。また、その活動範囲は英米に留まらず、マレーシア、南アフリカ、ロシア、トルコ、ベルギー、アルゼンチン、スイス、チリ、メキシコ、ブラジル、シンガポールなどワールドワイドに活躍している。ヘイズ博士は、またフロリダ大学の犯罪予防リサーチチームを指揮し、犯罪およびロス管理手法の研究を行っている。科学的調査研究を通じてロス削減を実現するために2000年に大手小売企業10社が資金提供して生まれたLPRCは、現在大手小売企業95社が参加しており、科学的調査手法を用いて小売業における犯罪やロス管理の課題に取り組む10のワーキンググループを運営している。ヘイズ博士は、本書を含む4冊の著書の他に150回以上の雑誌寄稿に加え、研究論文も多数書いている。2017年3月に東京で開催された万引対策強化国際会議では「万引犯罪の損失をいかに予防するのか。過去・現在・共に築く明日へ」と題した基調講演を行った。

以下の万引対策強化国際会議サイトでヘイズ博士の講演録を見ることができる。

(<http://www.manboukikou.jp/html/summit.html>)

訳者：近江元・阿部孔孝 出版社：中央経済社

価格：本体 3,200 円＋税

・・・「ヘイズ博士の教科書でLPを学ぶ会」のご案内・・・

毎月、都内（四谷）で毎月第3水曜日の18:30～20:00に「ヘイズ博士の教科書でLPを学ぶ会」を開催し、毎回1章ずつ学んでおります。講師による内容説明、確認テストの答え合わせロス対策やセキュリティに関する意見交換を行っております。

(一社)新日本スーパーマーケット協会 増井副会長など小売業の方々、防犯機器メーカー・警備業、警察関係者、さらには

日本リテイリングセンター渥美六雄先生がアドバイザーとして参加されております。ご関心がある皆様には、「ヘイズ博士の教科書でLPを学ぶ会」のご案内を差し上げますので、ご一報ください。

(万防機構)

